



愛宕山用地における防衛省の施設配置案

目次

- 02 愛宕山用地における防衛省の施設配置案
- 06 岩国市議会議員一般選挙
- 08 秋まつり特集 Part 1
- 12 平成23年度から都市計画税を導入
- 14 市有地を売却します
- 16 市政 PICK-UP
- 18 すまいる
- 19 まちの話題
- 22 健康教室・食推さんの食べてみんさいおいしいけえ
- 23 くらしの情報
- 27 おでかけ情報
- 28 市長夢日記

表紙の写真



おいでませ！山口国体
ホッケー競技リハーサル大会
(玖珂総合公園)

9月11日から15日まで、国体のリハーサル大会として「全日本社会人ホッケー選手権大会」が開催され、24チーム472人が参加しました。

試合は岩国市と山口市の2会場に分かれ、地元からは山口KUGAクラブが出場し、全国の強豪相手に熱戦を繰り広げました。

～ 榛葉副大臣が市長・市議会に説明～

愛宕山地域の約4分の3の区域は、愛宕山地域開発事業の赤字解消のために国に売却するということで、平成19年8月に山口県と岩国市が合意をしました。

その合意に基づき、同年11月、県知事が政府に対して用地の買取を要望し、福田良彦市長が就任してからは、県知事と市長とで政府に対して要望活動を続けました。

その結果、国の平成22年度当初予算に「米軍再編関連施設用地」として愛宕山用地の買取経費約19.9億円が計上されることになりました。

予算計上後、これまでは「米軍再編関連

施設」の具体的な説明がありませんでしたが、このたび、榛葉防衛副大臣が、9月3日午前中に県知事・県議会議長へ、午後には市長および市議会正副議長へ、同月7日には市議会全員協議会場で「愛宕山用地における施設配置案」の説明をされました。また、同月25日から27日にかけて、市内5会場において、防衛省中国四国防衛局が住民説明会を開催し、施設配置案の説明をされました。

その施設配置案について、お知らせします。

☎ 愛宕山地域開発室 ☎ 295164



市議会全員協議会で説明をする榛葉防衛副大臣（9月7日）

【防衛省による説明資料】

愛宕山用地における施設配置(案)

基本的な考え方について

- 愛宕山用地については、在日米軍再編に関連した施設の用地として取得
- 他方、愛宕山用地に整備する施設やその配置については、地元の意向を十分考慮
- また、家族住宅については、できる限り岩国飛行場内に整備

愛宕山用地の施設配置について

- 家族住宅(1,060戸程度)のうち1/4(270戸程度)のみ愛宕山用地に整備
- ※残り3/4(790戸程度)は岩国飛行場内に整備
- 家族住宅は、周辺地域からの景観に配慮し、低層により整備
- 野球場、400mトラック等の運動施設を整備し、日米友好親善を目的に、住民の利用も可能
- 運動施設エリアへの立入りは、開門の間、原則自由（身分証のチェックなし）
- 愛宕山用地内の緑地の保全及び緑化に努めるなど環境に配慮

運動施設エリアの概要について

【施設の概要】

- 〈運動施設〉○400mトラック・サッカー場 ○野球場 ○ソフトボール場 ○バスケットボールコート ○バレーボールコート ○テニスコート
- 〈コミュニティセンター（日米文化交流センター）〉
- 各種イベント・交流事業（カルチャー教室等）に利用可能
- 市民利用時の窓口を設置
- 〈その他〉

- 駐車場を整備
- 外周のフェンスは普通のフェンス(有刺鉄線なし)

【市民利用の概要】

〈運動施設エリアへの立入り〉

- 開門時間 朝から夕方
- 原則として立入りは自由(身分証のチェックなし)

〈施設の利用方法〉

- 市民は、岩国市(又は市が指定する団体)に利用申請
- 岩国市(又は市が指定する団体)が現地米軍と調整
- 運動施設の利用時は、コミュニティセンターの窓口に出
- ※運動施設の利用の詳細については、今後、現地米軍と岩国市との間で調整

愛宕山地域のまちづくり（進捗状況）

「医療・防災拠点」の整備に向けて



昨年の広報いわくに(平成 21年12 月 1 日号)においてお知らせした「愛宕山地域のまちづくり」の 1/4 区域につきまして、その後の進捗状況をお知らせします。

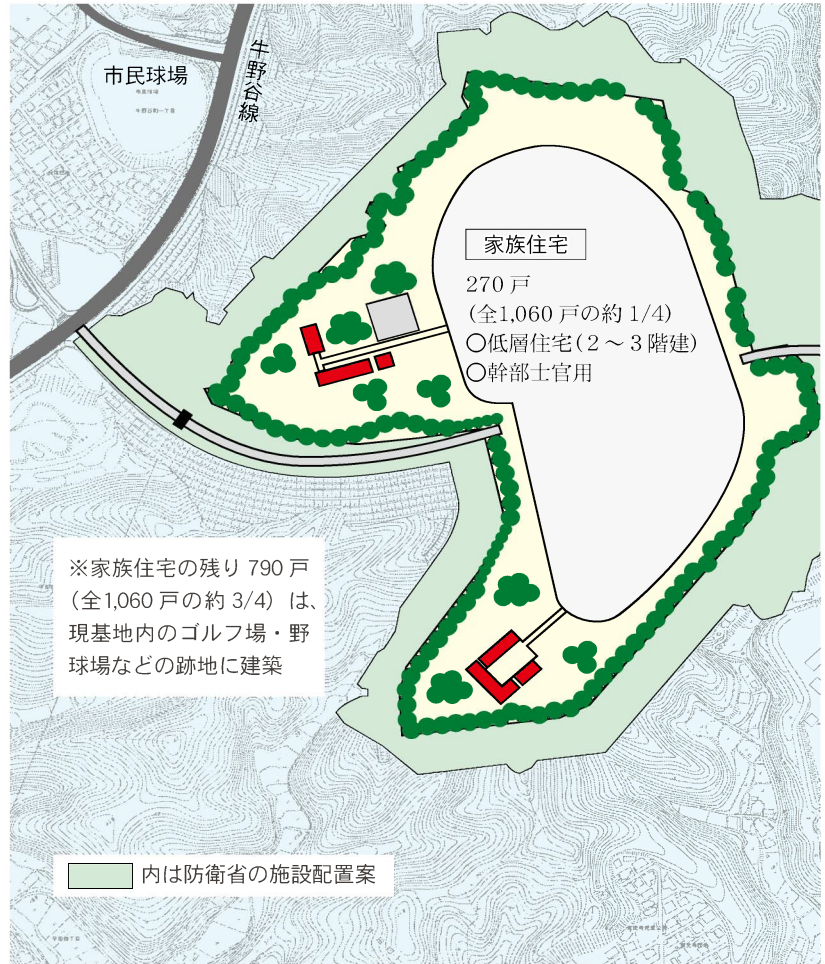
施 設	規 模	実施主体
岩国医療センター	敷地面積：約 7 ヘクタール 【病院本体】 構造：RC(※ 1) 造地上11階建て 延床面積：39,000 m ² 建築面積： 6,800 m ² ※看護学校・宿舎などの規模は未定	岩国医療センター
ドクターヘリ用ヘリポート	病院本体屋上	
防災機能を備えた多目的広場		市
消防署	敷地面積：約5.3 ヘクタール	市または消防組合
防災センター		
福祉施設(灘海園)	敷地面積：約 1 ヘクタール	県社会福祉事業団
調剤薬局	検討中	民間
幹線道路	幅員：20m 延長：1,370 m	県(県道南岩国尾津線)
補助幹線道路(北側)	幅員： 9 m 延長： 540 m	市
補助幹線道路(中央)	幅員：17m 延長： 260 m	
区画道路(東側)	幅員： 4 m 延長： 490 m	
区画道路(西側)	幅員： 4 m 延長： 210 m	
雨水排水施設	施設幅員：3.3 m(うち溝幅員 0.7 m) 延長：280 m	

※ 1 鉄筋コンクリート

規模の目安としては、市役所の庁舎・駐車場などを含む全区画が 1.8 ヘクタールです。

愛宕山用地の国による買取に関する経緯

2006年11月	県・市・県住宅供給公社により、愛宕山地域開発事業を一次造成工事で中止した場合の収支不足見込額が、約251億円と試算される
2007年 6月	愛宕山地域開発事業の中止に県・市が合意
8月	事業の赤字解消に向けて、事業中止後の跡地をできるだけ多く国に売却することで県・市が合意
11月	県知事が、政府へ愛宕山開発用地の買取を要望
2008年 6月	県知事・市長が、政府へ愛宕山開発用地の買取を要望
11月	県知事・市長が、政府へ愛宕山開発用地の買取を要望
2009年 1月	県知事・市長が、政府へ愛宕山開発用地の買取を要望。このとき、浜田防衛大臣が、「愛宕山開発用地については買い取りたい」と言明
2月	都市計画変更・都市計画事業認可取消（＝事業中止の法的手続完了）
6月	県知事・市長が、政府へ愛宕山開発用地の買取を要望
9月	市長が、政府へ愛宕山開発用地の買取を要望
11月	棟葉防衛副大臣が来庁。その際、市長が、「愛宕山用地買取り問題の道筋をつけること」を要望
12月	防衛省から、政府の平成22年度当初予算案に愛宕山用地の買取経費として約199億円（契約ベース）の計上をした」との連絡があり、併せて、「今後、米軍家族住宅用地としての転用も含め検討する」という説明があった
2010年 2月	「愛宕山開発跡地については、厚木飛行場から岩国飛行場への空母艦載機の移駐等に伴い必要となる施設を整備するための用地として取得する考えである」との閣議決定がなされる 北澤防衛大臣・棟葉防衛副大臣と市長・議長が、在日米軍再編問題について意見交換を行う中で、防衛大臣が、「県・市の要請を受け政府として予算措置した」と発言
3月	棟葉防衛副大臣が、在日米軍再編問題について市議会全員協議会へ説明
4月	防衛省中国四国防衛局が、在日米軍再編問題について、3日間7会場で住民説明会を開催
9月	棟葉防衛副大臣が、県知事・県議会議長へ「愛宕山用地における施設配置案」について説明。棟葉防衛副大臣が、市長・議長へ「愛宕山用地における施設配置案」について説明 棟葉防衛副大臣が、市議会全員協議会へ「愛宕山用地における施設配置案」について説明 防衛省中国四国防衛局が、「愛宕山用地における施設配置案」について、3日間5会場で住民説明会を開催



▲岩国医療センター完成予想図

岩国医療センターの移転新築

岩国医療センターにおいて完成予想図が作成されるなど病院本体の設計が順調に進んでおり、8月2日に開発工事の入札公告が行われ、9月10日に入札が行われました。

今年度、開発工事に着手され、来年には建築工事に取り掛かることになっており、平成24年度末の開院に向けて順調に進捗しています。

特別養護老人ホーム「灘海園」の移転

市から県に対して要望していた特別養護老人ホーム「灘海園」の移転が決定しました。

先ごろ、県社会福祉事業団が、県住宅供給公社から移転用地の買い取りを行ったところで、岩国医療センターの開院時期にあわせた開園に向けて、順調に進捗しています。

ドクターヘリ用ヘリポート

山口県が平成23年1月からの運航開始を計画しているドクターヘリですが、移転後の岩国医療センターで離発着するためのヘリポートは、病院移転用地に隣接した場所に設置される予定でしたが、その後、県地域医療推進室と岩国医療センターが協議をした結果、病院本体の屋上に設置されることになりました。